

湖南省防災士連絡会 令和6年度 第2回幹事会議事録

1. 開催日時

令和6年9月19日（木）19：00～21：00

2. 開催場所

サンライフ甲西 2F 大ホール

3. 出席者

18名

4. 議事概要

4.1 会長挨拶

- ・本日の幹事会では、各委員会から活動報告の他に、危機管理防災課の島田様より能登半島地震後に現地派遣され支援活動を行なってこられたのでその報告をお願いした。
- ・今回のこのような報告や、前回のロープワークの講習など幹事会で各委員会活動の報告以外の内容も含めているが、今年度は拡大役員会の中で、幹事会や各委員会の運営形態についても検討している。これらについて幹事の皆さんからもご意見を伺いたいと思っているので、各委員会の中でも議論する機会をもって頂き委員長に伝えて頂きたい。

4.2 事業執行委員会からの報告

4.2.1 スキルアップ委員会

(1) スキルアップ研修①：風水害出前講座 7月14日（日）に実施

「いつ動く！？自主防災組織版タイムライン作成ワークショップ」

- ・参加者：24名（会員）、講師：米津危機管理・防災課長

(2) スキルアップ研修②：訓練計画作成ワークショップ

「少しずつレベルアップしよう！ 防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会」

- ・開催日：11月10日（日）（台風10号の接近により9月1日の開催は延期となった）
- ・開催場所：サンライフ甲西
- ・講師：今村副委員長
- ・10月/初旬に会員へメールで案内予定

(3) スキルアップ技能研修

①普通救命講習（会員対象）

- ・10月6日開催予定の消防署による実技講習は、申込みが最小催行人数に満たず中止

②ロープワーク講習

- ・7月25日幹事会で実施した。

〔意見〕8/17には三雲学区で米津課長に講師をしていただき、防災研修会が開催され、85名の参加者があった。

また、9/14には甲西北中学校で防災フェスタが開催された。地域の住民も防災士も自らが防災研修会や講習会に参加する姿勢が大事である。

4.2.2 環境整備委員会

(1) 区の防災組織への防災士参画強化

- ・本年4月に朝国区より防災士連絡会へ防災研修会講師派遣の依頼を受け、区と会長の打合せの内容を受けて、環境整備委員会及び拡大役員会の了承を得て、今年度環境整備委員会の「区の防災組織への防災士参画強化」活動の一環として取組むこととした。
- ・研修会は10/20に開催予定で朝国区の自治会員向けに実施し、研修会の内容は、①防災〇×クイズ

(地震編)、②地震災害についての研修(過去の地震災害、個人で出来る減災対策、避難について等)とし、①は朝国区防災士、②は防災士連絡会が進行する。

- ・上記内容に対し、拡大役員会の協議の中で、「区で実施する防災研修会は区の防災士がすべて行うべきであるが、今回の場合は特例的と考えて良いのか？」との質問があった。本来はすべて区の防災士が進行し、防災士連絡会はそれらのサポートをするのが原則であるが、今回は最初の試みでもあり特例とした。

〔意見〕区で行う研修会は本来「すべて区の防災士が進行し、防災士連絡会はそれらのサポートをするのが原則」という意見に賛成である。防災士連絡会としては、研修で使用される雛形資料の提供などのサポートをすべきである。

(2) 防災士増強のためのサポートについて

- ・活動の参考とするため、本年の各区からの育成防災士推薦人数について、危機管理・防災課に確認した結果、推薦人数は23名(去年は20名)とのことであった。また、今年是一般市民からの市への問い合わせ件数も多かったとのことであった。
- ・拡大役員会の中で、「現在、区からの推薦のみで防災士育成者を選出しているが、非自治会員への呼びかけも防災士増加へつなげられる。その場合活動の仕方など防災士連絡会として考えておく必要がある。」との意見があったので、今後環境整備委員会の中でも検討していく事とする。

4.2.3 情報提供委員会

- ・6月/下旬に各区幹事への会報配布郵便に「防災士ライングループ作成のお願い」文書を同封・配布し、各幹事には、各区内防災士でライングループの作成を依頼した。
- ・9/12に各学区の代表者(拡大役員会メンバー)宛てにライングループ作成状況を調査するためのアンケート(グーグルフォーム)を配信した。これは各学区代表者から自学区の各幹事に転送していただき、区ライングループの作成状況を各幹事に回答をお願いするもの。
- ・9/19の時点で、7学区中2学区で、各幹事へのアンケートの転送が確認できた。
- ・7学区の学区グループの代表者は以下のとおり。学区グループ代表者は各区幹事へ転送ください。

学区グループ	代 表 者	*区グループ(代表者は区幹事)
三雲学区	福島 副会長	三雲、妙感寺、吉永、夏見、針、ルモン甲西、中央、平松、柑子袋
石部学区	清水 会長	石部東、石部中央、石部西、岡出
石部南学区	奥村 委員長	宮の森、宝来坂、石部南、東寺、西寺・丸山
岩根学区	青木 監査役	朝国、岩根東口、岩根東、岩根西、岩根花園、正福寺
菩提寺学区	川上 副会長	北山台、菩提寺、みどりの村、三上台、イワタニランド、近江台、サイドタウン
下田学区	織田 委員長	下田東、下田西、下田南、下田北、中山、緑ヶ丘、大谷、桐松、堂の城
水戸学区	加納 会計	湖南工業団地北、湖南工業団地中、湖南工業団地南

*幹事未選出の区、ライン環境を持たない幹事については、今回は対象外とする

4.2.4 情報共有委員会

- ・拡大役員会で「今回の台風10号の接近時、市から地区連絡所の開設の案内が発出されたが、区によっては自主避難所を開設しているところがある。市内にたとえば高齢者等避難【警戒レベル3】等が発令された時、各区ではどのような対応を取ることになっているか調査してはどうか。」との提案があった。本件に対し、各区での本部開設の条件、避難のタイミング条件等の調査を各幹事経由で情報共有委員会が実施する事とした。

4.3 その他

(1) 共用ノートパソコンの運用について

- ・用途：各種プレゼン資料、各委員会議事録等の資料作成
- ・ノートパソコンの管理は会長が行い、使用希望者は委員長経由で申込む。

- ・委員会ごとにワードやパワーポイントの資料を作成出来る領域に入るための識別情報（ローカルアカウント）を設定している。また、委員会ごとに WEB メールでメールの送受信をするためのメールアドレスも設定している。

(2) 危機管理・防災課からのお知らせ

地区防災計画策定説明会の開催について

- ・湖南省 43 区のうち地区防災計画を提出している区は 20 区で、半分以上の区で未策定である。
- ・そこで、未策定の区や提出済の区でもさらに内容の向上を図るために、下記の要領で地区防災計画策定説明会を開催する。
- ・地域代表者会議で各区長へ案内をするが、防災士連絡会会員へも情報共有する。

記

日 時 令和 6 年 11 月 10 日（日）13 時 30 分～（2 時間程度）

場 所 共働福祉施設（サンライフ甲西）2 階大ホール（湖南省中央一丁目 1 番地）

(3) 次回（第 3 回）幹事会の予定

日 時 令和 6 年 11 月 21 日（木）19 時～

場 所 サンライフ甲西 2 階大ホール

4.4 能登半島地震現地派遣報告

- ・「令和 6 年能登半島地震～被災地支援で感じたこと～」というテーマで、危機管理・防災課の島田聖也様より現地での写真を中心にプロジェクターと配布資料により報告いただいた。
- ・報告の概略を以下に記す。

1.地震の概要および被害状況等

- ・規模 マグニチュード 7.6（最大震度 7）
- ・死者 281 人、重軽傷者 1,326 人、行方不明者 3 人、住宅被害 全壊 8,429 棟 半壊 21,370 棟（以上 R6.7.1 時点）
- ・石川県避難所開設状況 191 カ所（避難者 2,086 人）

2.令和 6 年能登半島地震の光景

- ・海岸部の道路の寸断・上下ずれによる段差、マンホールの隆起（人の高さ）、がれき散乱等の説明

3.避難所の様子

能登町小木小学校での滞在（一週間）の状況写真での説明

- ・段ボールによる仕切部屋、避難者用情報掲示板、トイレ、自衛隊による風呂等の状況

4.避難所での食事

- ・炊き出しによる暖かい食事、市販のパン・弁当の食事、レトルト食品・アルファ米の食事

5.まとめ

- ・先を見据えた準備をしていますか？（防災備蓄品、訓練）
- ・想定どおりにいかないのが“災害”
- ・被災者の方からのことば

「自分達のことは自分達でやる、“自分ゴト”としてやらなあかんという気持ちになった。」

※島田様にはお忙しい中、資料の準備・報告の時間をとっていただき、誠にありがとうございました。

以上